

- (1) 出展社名 (株式会社 UL Japan)
- (2) 会場名 (C) 会場
- (3) 発表時間帯 (13:00 ~ 13:30)
- (4) タイトル

化学物質評価ツール「REACHAcross™」について

(5) サマリー

「機械学習」を化学物質のエンドポイント挙動評価に導入し、正確なリードアクロス(類推)と定量的構造活性相関モデル(QSAR)を用いた化学物質評価ツール「REACHAcross」ソフトウェアを紹介します。本ソフトウェアは、毒性評価の際の動物実験の削減や、研究開発におけるスクリーニングツールとしての活用が期待されます。

- 【名 称】化学物質管理ミーディング 2017
~Chemical Substance Management Meeting 2017~
- 【会 期】2017年8月24日(木)・25日(金)の2日間 【時 間】9:30~17:30
- 【会 場】パシフィコ横浜 ホールC (横浜市西区みなとみらい1-1-1)
- 【参加費】事前登録者・案内状持参者：無料(当日参加者：有料1,000円(税込))
- 【主 催】株式会社化学工業日報社
- 【後 援】経済産業省、厚生労働省、環境省、神奈川県、横浜市、川崎市、
一般社団法人産業環境管理協会、 独立行政法人製品評価技術基盤機構、
中央労働災害防止協会、 一般社団法人日本化学工業協会、
一般社団法人日本化学品輸出入協会、 一般社団法人日本化学物質安全・情報センター、
公益社団法人日本作業環境測定協会 (50音順)